

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第4区分
 【発行日】令和6年6月11日(2024.6.11)

【国際公開番号】WO2021/250182
 【公表番号】特表2023-529004(P2023-529004A)
 【公表日】令和5年7月6日(2023.7.6)
 【年通号数】公開公報(特許)2023-126
 【出願番号】特願2022-576342(P2022-576342)
 【国際特許分類】

10

C 2 3 F 1/34(2006.01)
 C 2 3 F 1/40(2006.01)
 H 0 5 K 3/38(2006.01)

【F I】

C 2 3 F 1/34
 C 2 3 F 1/40
 H 0 5 K 3/38 B

【手続補正書】

【提出日】令和6年5月31日(2024.5.31)

20

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

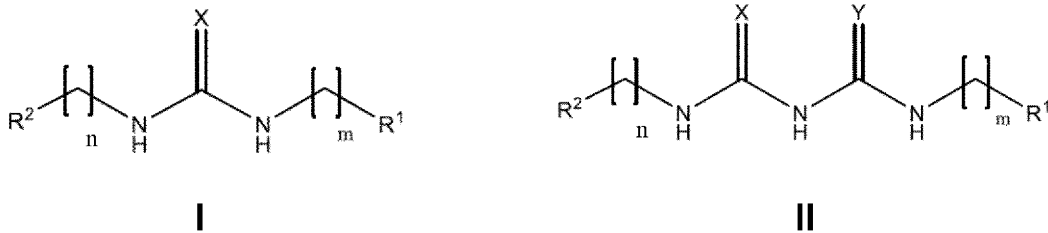
【請求項1】

金属基材表面処理用の塩基性水系エッチング組成物であって、前記組成物は、

(a) 式 I および I I

【化1】

30



[式中、

X および Y は、独立して、酸素、N R R ' および N R⁵ を含む群から選択され、

R、R ' および R⁵ は、独立して、R¹、水素、ポリエチレングリコール、芳香族化合物および C₁ ~ C₄ アルキルを含む群から選択され、前記芳香族化合物および C₁ ~ C₄ アルキルは、任意に、O R⁶ として選択される少なくとも1つの置換基を含み、

40

R⁶ は、水素および C₁ ~ C₄ アルキルを含む群から選択され、

X および Y は、同一であっても異なってもよく、

R¹ および R² は、独立して、水素、アルキル化合物、アミンおよび含窒素複素芳香族化合物を含む群から選択され、

R¹ および R² は、同一であっても異なってもよいが、ただし、R¹ は、水素であってはならず、

さらに、式 I を有する化合物において、X が酸素である場合、R¹ は、アルキル化合物であってはならず、

50

mは、1～4の整数、好ましくは3であり、
nは、0～8、好ましくは2～4の整数であり、
mおよびnは、同一であっても異なってもよい]を有する化合物および/またはその塩を含む群から選択される、官能化尿素、ピウレットおよびグアニジン誘導体ならびに/またはその塩と、

(b) 被処理金属表面の金属を酸化させるための酸化剤と
を含み、

前記塩基性水系エッチング組成物は、8～12のpHを有する、塩基性水系エッチング組成物。

10

20

30

40

50